



## レストハウス営業中です

旭山記念公園レストハウスは、毎日 10 時から 17 時オープンです。  
森のレストラン「森のアリス」、今月は「アイスもなか」を紹介します。  
もなかの皮に、小豆をのせたアイスはさんだ昔風アイス。  
写真の「抹茶味」の他「バニラ味」もあります。250 円(税込み)です。  
レストハウスは売店をご利用されなくても休憩できます、ぜひお越しください。



## 旭山の身近な危険生物

旭山記念公園にもいます、あります、身近な危険生物などを今回は紹介します。

◎その前に・・・「**わからないものには触らない**」

これ大原則、何だろうと思っても、**わからないものには触らない**ようにしてください。

### ★クサノオウ

茎から出る黄色い液体は有毒ですが、心臓の薬に使われるもので、手についてもすぐ拭けば問題ありません。



### ★エゾトリカブト (鳥兜)

強い毒を持つ植物の代名詞。旭山では少ない。花はきれい、花も葉も触らなければ大丈夫です。



### ★その他有毒植物

キツネノボタン：汁に接触で炎症  
イラクサの仲間：細かいとげ痛い  
ツリバナ、マムシグサ、  
イチイ (オンコ)：中の種子が有毒

### ★その他危険な虫

メノコツチハンミョウ、ハチ類、  
アブ類：毒はないがかまれると痛かったり痒かったり。

※きのこにも有毒のものがあります。きのこは自分で本で調べず必ず保健所か専門家に聞いてください。

### ★キタキツネの糞

ネズミ由来のエキノコックスを媒介することがあり、発症すると肝臓をやられます。空気感染はしないので、触らなければ大丈夫。  
他の動物の糞も落ちていることがあります、動物の糞を見たら決して触らないようにしましょう。

### ★ウルシ科の植物

◎ツタウルシ (上)

つる状に伸びる。葉は3枚1セット。

◎ヤマウルシ (中)

低木、羽状複葉でへりにぎざぎざが多い葉と赤い茎。

◎ヌルデ (下)

亜高木、羽状複葉ウルシほどではないが敏感な人はかぶれます。

※いずれも秋に紅葉、きれいだからといって葉を持ち帰らないように



### ★毒のあるガ

毒のあるガは何種かいます。成虫は近寄ってくることは少ないですが、幼虫＝毛虫に触るとかぶれて赤く腫れることがあります。とにかく毛虫を見たら触らない。



### ★地面に落ちた木の実

ヤマブドウ、コクワ (サルナシ)、ヤマグワなど人間が食べておいしい木の実も、地面に落ちた物を食べると感染症などの病気になることがあるので、決して拾って食べないようにしてください。

### ★ヒグマ

藻岩山で目撃情報があり、旭山でも出ないとは言いきれません。

### ★マダニ

笹やぶに潜み、人や動物が来ると張り付いて繁殖しようとしています。命の危険がある感染症にかかる恐れもあるため、笹やぶには入らないことがいちばんです。犬にもつき、さらにそこから人につくこともあるので要注意。マダニについて詳しくは、札幌市や厚生労働省のHP ご参照ください。

### ★蚊

血を吸われると痒い他、病気を媒介することも稀にあります。犬が刺されるとフィラリアになる恐れがあるので愛犬家は要注意。

### ★スズメバチ

大型5種と小型クロスズメバチ数種がいます。近づいて来たら恐くても決して手で払おうとせず動きを止めてじっと待ちます。基本的には巣に近づかない限り刺すことはないですが、巣を見つけたらそっとその場を離れましょう。



↑大型種のキロスズメバチ



↑小型種のクロスズメバチ

### ★マムシ (有毒)

旭山での目撃情報はほとんどないが周辺に生息、注意が必要です。誤って接触しない限り攻撃してこないで見つけたらそっと離れること。他のヘビは毒はありません。

## 旭山野鳥メモ ⑤イワツバメ

④イワツバメ Asian House Martin *Delichon dasypus* スズメ目ツバメ科  
夏鳥。北海道では5月から9月に見られる。喉が赤くない白黒の燕。  
海沿いから山地まで広く生息。岩崖に集団で泥を固めた巣を造るが、  
人工建造物、特に橋や高架橋をよく利用する。

イワツバメ、近年旭山ではほとんど見ない。昨年数年ぶりに一度観察。  
かつては旭山から円山にかけて特に夕方に飛んでいるのがよく見られ、  
夏場に藻岩山ロープウェイで山頂駅に着くとたくさん飛んでいた。

見られなくなった理由は不明、周辺に営巣に適した場所が減ったのか。

喉が赤いツバメは現在札幌では確かな営巣の情報がないが、旭山ではツバメの通過個体の出現記録が  
あり、今後は観察例が増え、定着するかもしれない。道南に多く、余市まで行くと街中で普通に見られる。

札幌にツバメがいないというと意外に思われるが、イワツバメや河川流域にいるショウドウツバメと一緒にた  
に話されているか、ツバメという生き物が日本人の自然観や生活観にインプットされているのだろう。

なお、アマツバメ類はまったく違う仲間であり、進化の過程で速く飛ぶことに適応した結果似たような形にな  
ったもので、いってみれば生物学上はスズメとアカゲラほど違う。



## 7月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★キクイタダキ(下写真幼鳥) = 6月下旬、旭山では初めて幼鳥が観察されました。キクイタダキ自体6月に旭山で  
観察されたのは初めて。両親が交互に幼鳥に餌を与えていました。



★イカル = 6月下旬から桜の実を食べに来ており近くで観察する機会もあります。

★アオバト = ミュンヘンの森の桜には6月中旬まで実を食べに来ていました。

★オオルリ = 6月に囀りをする雌の姿が見られました。巣が近かったのでしょうか。

★シマエナガ = 6月には目に黒い帯がある幼鳥が見られました。

★ウグイス = 今年は森の家周辺など園内でよく声が聞かれています。

## 旭山ニ=生き物図鑑 2019年7月 6月から7月の生き物たち



ジョウザンミドリシジミ  
シジミチョウ科のチョウに  
は青光りするものを中心  
とした「ゼフィルス」と呼ば  
れる仲間がいます。「ゼフ  
ィルス」は夏に多く、ジョ  
ウザンミドリシジミは旭山  
で多く見られる種です。



エゾリスの子ども(耳毛長い)



囀りするオオルリ雌



シジウカラ幼鳥



モイワサナエ雌と雄(右)



マメコガネ



アカマルハナバチ



ダイコンソウ



キクニガナ(チコリ)

## 編集 後記

旭山記念公園では夏になるとニホンアマガエル(雨蛙)の声が聞こえてきます。  
学びの森から噴水広場にかけての辺りで主に夜に鳴いていますが、  
どこで産卵しおたまじゃくしが育っているのか、まだ分かっていません。  
おなじみの身近な生き物でも、まだ分からないことがたくさんあるのです。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第70号 2019(令和元)年7月6日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahi-yama/>